

やとみ

議会だより

No.

28

2013年
2月発行

再会を祝して

NEW

ご参加、ありがとうございました

市議会タウンミーティング概要

19、20 ページをご覧ください

平成24年12月定例会概要

1月13日 成人式(総合社会教育センター)

発行 ● 弥富市議会

編集 ● 議会広報編集特別委員会

〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335

☎(0567) 65-1111

FAX (0567) 67-4011


12月定例会

12月定例会を11月28日から12月20日までの会期で開きました。


市長から、コミュニティFM放送局整備予算など15議案が、議員から議員報酬削減、意見書など5議案が提出され、原案通り可決しました。

また監査委員の選任に同意し、人権擁護委員候補者2人を適任であると決定しました。
一般質問には、16人が登壇しました。

日の出小学校 工事の契約変更

平島町地内に建設中の新校【】の一部仕様変更等に伴い、契約変更を議決するものです。

▼変更前 18億3千750万円
▼変更後 18億7千122万円

 桜小学校のマンモス化を解消するため、旧弥富中学校跡地に建設中の分離校、通学区域は平島と車新田の行政区で、4月に開校予定。

採決

質疑・討論なく全員賛成

議員報酬を削減

1月から3月31日まで、

報酬月額5%を、議員提案により削減するものです。

▼報酬月額 議長47万5千円 (50万円) 副議長42万7千500円 (45万円) 議員38万円 (40万円)
()内は、削減前の月額

討論

賛成討論(那須議員)

市財政が厳しく、市民と痛みを分かち合いたいと思いい、賛成する。

採決

全員賛成で可決

一般会計補正予算

衆議院議員選挙等費用2千600万円、日の出小学校建設契約変更分1千770万円、震災対策のコミュニティFM開局補助金908万円ほか、1億2千847万円を予算化するものです。

採決

質疑・討論なく全員賛成

監査委員

任期満了に伴い、再任に同意しました。

片岡 明 氏
(65歳・鯛浦町)

人権擁護委員

候補者を適任かどうか決定するものです。

大谷美成子 氏
(60歳・四郎兵衛)

水谷正照 氏
(63歳・平島中)

質疑

質疑(佐藤博議員)

人権擁護委員という職務上、政治、選挙活動等に中立、公平性がある人が望ましい。

(水谷氏の)推薦は、どういう意図か。

答弁(市長)

議員の意見は今後、参考にしていきたい。

教育行政にも長けており、適任な候補者であると思っ

採決

討論なく、全員賛成で候補者を適任と決定

意見書の提出

国民の安全・安心を支える国土交通行政の体制・機能の充実に関する意見書

(総理・財務・総務、衆参議院議長に提出)

子ども・子育て関連3法の実施にあたっての意見書

(総理・財務・総務・文部科学・厚生労働大臣に提出)

主な内容

定例会の審議内容
議案質疑……………2
一般質問(16人)………3～18
タウンミーティング
の概要報告……………19～20

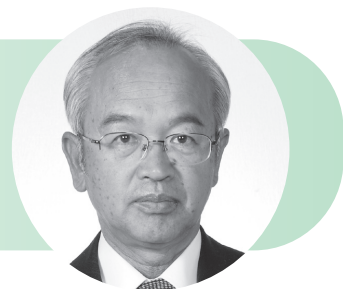
表紙の説明

成人式が1月13日、総合社会教育センターで行われ、442人の新たな門出を祝いました。

二十歳となって選挙権が得られるのを契機に、市政にも関心を持っていただけだと思います。



平野 広行 議員



プレミアム付き商品券の発行で、地域経済活性化を

問

- 1万円で1万1千円の買物ができる、プレミアム付き商品券について聞く。
- (1) 市と商工会、販売店の3者で話し合い、発行で地域経済の活性化を図ってはどうか。
 - (2) 具体的な認識を聞く。

商工会事業として支援したい

答 市長

- (1) 市、商工会と一緒に研修協議を重ね、早い機会に商品券を実行していきたい。
- 答 商工観光課長
- (2) 商工会の地域振興策の一つであると思っている。市として引き続き、商工会が取り組む事業の一つとして、支援していきたい。

中央道と23号交差の車線拡幅を

問

- 湾岸地区の物流ルートについて聞く。
- (1) 交通量
 - (2) 道路工事の進捗状況、工事予定について聞く。

- (3) 中央幹線が工事の場合の迂回対策について聞く。
- (4) 西尾張中央道と国道23号の接合部に、北進は1車線拡幅が必要ではないか。
- (5) 市道の中央幹線に、津波から避難できる歩道橋を設置してはどうか。

状況を見て県に要望していく

答 土木課長

- (1) 西尾張中央道は1日当たり約1万8千台である。
- (2) 西尾張中央道から南進する臨港道路(鍋田ふ頭進入道路)は、3月に暫定2車線の供用開始が予定され、4車線化は28年3月末と(名古屋港管理組合より)聞いている。

名古屋第三環状線は、伊勢湾岸自動車道から国道23号までの約2.4kmは、鍋田地区の約1kmは供用開始され、その延伸の境地区は用地交渉が順次行われており、計画的に(県が)工事着手することになっている。

稲荷崎、中原、富島地区は説明会が終わり、用地測量が発注され、25年度は用地取得すると聞いている。

中央幹線道路は、国道23号と伊勢湾岸自動車道区間約3kmの約50%が、24年度完了予定である。

引き続き未整備区間の早期完成を図っていく。

(3) 大型車両が市道を通行しないよう案内看板等で誘導するとともに、他の広域

- 幹線道路への迂回を、市から名古屋港管理組合へ依頼している。
- (4) 時間帯によって渋滞を招く状況があり、車線数の増加は必要と考えている。今後の交通状況を見ながら、県へ交差点改良の要望をしていく。
 - (5) 土地買収の問題もあり、考えていない。



▶整備の進む鍋田ふ頭進入道路
(写真後方「八穂クリーンセンター」)



那 須 英 二 議員

児童クラブの定員を増やす計画は

問

保育所等について聞く。
 (1) 3カ月保育と6カ月保育の申し込みはどれだけあったか。

また、ひのでと弥生保育所の定員数は。

(2) 生後3カ月から預けられるよう、東南部から通いやすい保育所で受け入れてはどうか。

(3) やむを得ず、三重県桑名市の病児保育施設を利用した保護者がいる。一時保育や病児保育に

対しての考え方は。

(4) 児童クラブで定員がいっぱいの所は、今後、定数を増やしていくと回答があったが、どんな計画で考えているか。

(5) 児童クラブの4年生以上の受け入れも27年度からか。

保育所入所基準(広報 11月号より)

▼入所基準
 児童の保護者の全員が次のいずれかに該当することにより、児童を保育することができない場合であつて、ほかに保育者がいない場合です。
 ①昼間に家庭外で働いている。保育所開所時間中、実際の労働時間以上1日4時間以上かつ1か月12日以上。
 ②昼間に家庭内で児童と離れて家事以外の労働をしている。(保育所開所時間中、実際の労働時間以上1日4時間以上かつ1か月12日以上)
 ③出産の前後
 ④長期の病気・心身に障がいがある児童が同居である。
 ⑤同居の親族を常時介護をしている。
 ⑥災害の復旧にあつては、次のとおり各保育所で実施します。(いずれも1ヶ月(金曜日のみ)午前7時30分～午後7時)
 ⑦南都・桜・ひので、弥生・西郷・白鳥・十四山保育所
 ⑧午前8時～午後6時
 ※私的契約は延長保育を利用してきません。
 ▼入所基準
 各保育所とも満3か月ですが、弥生保育所は満3か月以上の保育所は満6か月より受け入れます。

▼保育料
 原則として、父母の「前年度の所得税額」と「前年度の市町村民税額」により決定します。(住宅借入金等特別控除・配当控除等は適用されません)
 また、午後5時を超える延長保育については、延長保育料が必要になります。

▼障害児の入所
 入所基準に該当し、集団保育が可能で児童に心身に障がいがあると認められる場合は、事前に市役所児童課へ相談ください。

▼私的契約
 入所基準に該当しない児童については、優先入所区域保育所の定員に余裕がある場合に限り、私的契約として受け入れます。(3歳未満児を除く。ただし、4月のみ、5月末満児でも求職目的ならば入所が可能です。なお、保育料が異なります。)
 私的契約の年度途中入所はできません。
 ▼問い合わせ先
 市役所児童課(内線1502、1515)

▼新教育委員の紹介
 任期満了となった加藤正和さんの後任として10月1日付け伊藤三三さん(前が須明)が教育委員に就任しました。

27年4月までに整備を計画

答 児童課長

(1) 弥生保育所で満3カ月が4月入所で2人、6月入所で1人である。

定員数は、2歳未満児が

両保育所とも30人である。現在、弥生は17人、ひのは14人である。

(2) 受け入れはリスクも伴うので、弥生保育所は看護師も配置し対応している。全保育所に対応するのは難しいが、指摘の地域性もある。

(3) 法に規定が盛り込まれ、市は計画を策定し、実施するものとされた。

今後、市民ニーズを踏まえ、計画を策定し事業を実施していきたい。

(4) 現在、定員に余裕のない児童クラブは、施設拡充が必要となってくるが、27年4月までに整備していく考え方を持っている。

(5) 27年4月のスケジューリングを進めていきたい。

学校トイレの洋式化を25年度に

問

学校施設の整備を聞く。

(1) トイレ洋式化、温水シャワー、老朽化した部分を25年度一気にを行うことを考えてはどうか。

(2) 体育館天井や照明の落下防止策が必要ではないか。

国補も活用し計画的に進めたい

答 学校教育課長

(1) 24年度、日の出小学校建設工事が完了するので、今後、トイレ洋式化をはじめ、小中学校改修に努めていきたい。

限りある予算であり、国の補助事業も活用し、順次計画的に改修していきたい。
 (2) 学校施設の構造体の耐震化は、市は基本的に終わっている。
 非構造部材の耐震化は、ガラスの飛散防止フィルム以外は進んでいない。今後、専門家による建物調査、改修計画提案を踏まえ、計画的に財政状況を勘案し、進めていきたい。

炭 竈 ふく代 議員



子育て3法の具体化に伴う 認定こども園の市の考え方は

問

子ども・子育て関連3法【】の具体化について聞く。

- 保育所と幼稚園の機能を併せ持つ「幼保連携型認定こども園」の創設や、民間企業参入による保育所待機児童の解消などを目的とした法律。27年度施行予定。
- (1) 子ども・子育て支援事業計画作成について、どう考えているか。
- (2) 地方版子ども・子育て会議の設置が努力義務として定められている。市も、設置する必要があると考えるが、どうか。
- (3) 保育所の待機児童の実態は。
- (4) 認定こども園の考え方の地域型保育給付【】への今後の取り組み
- 待機児童対策として、小規模な保育施設等に対し、財政支援を行う制度。配置基準等は、市が条例で定める。
- (6) 乳児家庭を訪問する、

こんにちは赤ちゃん事業の23年度の実績は。

十分検討し今後方針を決めたい

答 児童課長

(1) 計画策定に当たり、25年度ニーズ調査を実施し、

子宮頸がん予防ワクチン・Hibワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン 予防接種費用助成

子宮頸がん予防ワクチン・Hibワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンは保護者の希望により行う任意接種です。市では国のワクチン接種緊急促進事業により、接種費用の一部を助成しています。この事業は平成24年度末までを期限としているため、現時点で費用助成は平成25年3月31日接種分までを対象としています。(平成24年3月時点)

費用助成の対象者・助成金額

ワクチンの種類	費用助成の対象者	1回接種ごとの助成金額
子宮頸がん	中学1年生(13歳となる日の属する年度の初日)～高校1年生(16歳となる日の属する年度の末日)の女性 ※ただし高校2年生相当の女性のうち、平成24年3月31日までに本事業に基づいて1回目または2回目の接種を行った方は、それ以降の接種についても助成対象となります。	5,000円
Hib	生後2か月から5歳の誕生日の前々日までのお子さん	2,500円
小児用肺炎球菌	生後2か月から5歳の誕生日の前々日までのお子さん	3,000円

新制度給付や事業需要見込み量を把握していきたい。

- (2) 市も会議を設置し、計画を策定していきたい。
- (3) 現在、待機児童はないが、24年度は乳児の入所希望が非常に多く、希望の保育所定員に余裕がない場合は、一時的に待ってもらうことがあった。
- (4) 移行の必要性を十分検討し、今後策定する計画の中で方針を定めていきたい。
- (5) 従来の保育所による対応を基本に、ニーズ調査で需要見込み量を把握し、方針を定めていきたい。

子宮頸がん予防接種PRを

問

子宮頸がんの予防対策について聞く。

- (1) 23年度学年別接種率
- (2) 学校教育等で受診率向

答 健康推進課長

(6) 対象家庭数457件に対し、訪問数416件91%だった。

各中学校へPRしていく

答 健康推進課長

上を目指す必要があると思うが、今後、市として、どう考えているか。

(3) 25年度以降、定期接種になった場合、市としてどう考えているか。

- (1) 対象者1千84人に対し、接種者437人、接種率40.3%で、学年別は(対象者、延べ接種者、接種率の順に)中学1年生241人中25人10.4%、中学2年生205人中46人22.4%、中学3年生235人中74人31.5%、高校1年生202人中171人84.7%、高校2年生201人中121人60.2%である。
- (2) 広報、母子保健予防接種事業の案内、ホームページ等で周知しており、教育委員会からも各中学校へPRしていく。
- (3) 国の動向を注視しながら検討していきたい。

三浦義光議員



既存住宅や建て替え時に
液状化対策を推奨しているか

問

液状化対策について聞く。
(1) 千葉県浦安市と24年9月、災害協定を結んだが、内容等を聞く。
(2) 公共土木施設に対し、独自の調査、対策を検討しているか。
(3) 既存住宅対策、建て替え時の推奨などを考えているか。

設計士への相談
を勧めていく

答 市長

(1) 液状化現象を激甚災害として、どう国に要望しなければならぬかを基本に、災害からの復旧、復興を教訓として学びたい。

答 下水道課長

(2) 下水道は、液状化対策

は設計当初から行っている。

道路は、名古屋第三環状線の一部区間が液状化対策となるサンドコンパクションパイル工法を採用している。

浦安市と情報を共有し、対策について今後も調査、研究していきたい。

答 防災安全課長

(3) 絶対的な工法は現段階ではないようで、土地の状況や費用等を考慮しなければならぬ。
新築、改築時には設計士等に相談するよう勧めていく。

農家の家族経営
協定の長所は

問

農業経営の現状について聞く。

(1) 24年度産米の作況指数は。

(2) 日本政策金融公庫の調査で、

灯油等燃料や肥料代のコスト増加に対し、販売価格に転嫁できない

実態が明らかになっている。

どんな改善策があるか。

(3) 農村生活アドバイザーは何人いるか。

(4) 農村女性起業活動の実態と支援を聞く。

(5) 家族経営協定は何戸が締結されているか。

どんなメリットがあるか。

認定農業者にな
れ、助成も拡充

答 農政課長

(1) 県は101、尾張地域は100である。

(2) 市では、スーパーL資



金や、農業近代資金に対する利子補給をしており、今後も継続していきたい。

(3) 11人である。

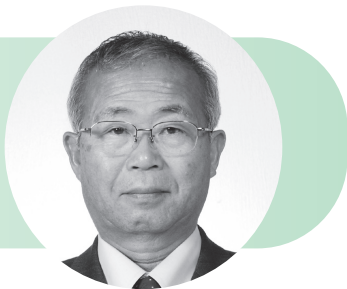
(4) 24年3月末現在、食品加工4件、直接販売2件である。

支援は行っていないが、農村生活アドバイザーに補助をしている。

(5) 水稲8、トマト10、花き10で、28戸が締結している。

制度上のメリットは、認定農業者になれること、農業者年金保険料助成が受けられる。女性や若者が経営に参画し、安定経営を進めるよう、推進していきたい。

三 宮 十五郎 議員



1乗車2千円かかるコミュニティバスの抜本的改革を

問

コミュニティバスを聞く。

- (1) 23年度、1億3千533万円を負担して、利用者は1日184人、1回当たりの費用は2千円である。抜本的な見直しが必要ではないか。
- (2) 三重県玉城町のデマンド方式を調査してはどうか。

停留所削減、福祉バス化を検討

答 市長

- (1) 南部ルート利用が多く、便を増やすのが常道だと思う。北部、東部ルートは停留所を削減していきたい。
- 5、6千万円の総額方式で、料金を無料化し、21年度まで運行していた巡回福祉バスに戻す方法もあるのではないかと思っている。

- (2) 時間をかけて検討していきたい。

タクシー券と自動車税減免併用を

問

タクシーチケットを聞く。

- (1) 重度障害者のチケット取得と、自動車税減免は重複利用できない。双方使える仕組みが必要ではないか。
- (2) 市街地から離れた人は、(利用総額が)相当な負担になる。研究してほしい。

25年度より特例制度を設ける

答 福祉課長

- (1) 自動車税減免を受けている人が、病気や出産等で

- 運転できない場合、25年度より特例として一月4枚のチケットを交付する。
- (2) 地域で交付枚数を変えることは難しい。

財政的に福祉を維持できるのか

問

中長期的な財政計画を確立することを聞く。現在の市の状況から見て、どういう方向で福祉を担保しているのか【関連記事15画】。

大型事業と保育料見直し等並行

答 市長

25～29年度の中期財政計画を策定した。

大きなプロジェクトとして、28年度(完成)をめどに、総額50億円を超える新庁舎建設、25、26年度に7億前後の投資となる白鳥保育所改築、佐古木駅南側の整備

を25、26年の中で行いたい計画を持っている。歳出の見直しもやっていたかなければならない。

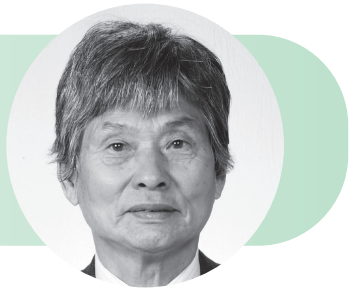
保育料見直しは、県(平均)レベルで(値上げを)協議したい。JR・名鉄駅の整備計画は、30数億円かかるので凍結したい。全職員給与を3%以上5%未満、3年間減額したい。

地域公共交通の見直し、扶助費の見直し等々もしっかり精査しないと、計画が全うできない。大変厳しい状態だが、理解を得ながら福祉財源を確保しなければならぬと思っている。



▶整備が計画される近鉄佐古木駅南口

大原 功 議員



過去5年間の市税の滞納は いくらあるのか

問

- 市税の滞納について聞く。
- (1) 過去5年間の滞納金額
 - (2) 2年以内の滞納金額
 - (3) 延滞利息は。
 - (4) 農家で資産を持つ人が税金を払わないのは何件あるか。
 - (5) 市民税は払うが、固定資産税は滞納するということはあるか。
 - (6) 2年間の滞納利息は幾らか。

累計で9億4千万円である

答 総務部長

- (1) 現在、滞納の累計は9億4千万円である。
- (2) 22年度1億9千500万円で収納率97・69%、23年度1億9千900万円で収納

率97・71%である。

- (3) 年14・6%である。
- (4) 固定資産を持つている納税者が滞納する人数は分かるが、職業の仕分けはしていない。
- (5) 一つの税は納めて、違う税は納まっていないという例もある。

答 収納課長

TPPで弥富米のブランド化を

問

- TPPについて聞く。
- (1) 外国から輸入する米は、本場に衛生上、悪い米なのか。
 - (2) TPPに参加すること

は、これからの農業に大事である。

日本も参加のテーブルについて、この部分だけは現在どおり関税を認めさせるよう、状況をきっちりすべきである。

TPPをやるとかかなりの利益にもなり、国内生産、企業の経営がよくなり、当然雇用もよくなるのではないか。

弥富の米もブランド米としてはどうか。

農業は関税撤廃は厳しい

答 開発部長

- (1) 食品添加物と残留農薬基準が守られておらず、規制緩和により食の安全、安心が脅かされる。

答 市長

- (2) TPPの分野においては、非常にたくさん分野がある。どのような形で日本の主張をしていくかは、大変重要なことだろうと思

っている。

日本の内需拡大も、今限界が来ている。日本の産業の競争力は、大変大きなものがあるだろうと思っ

しかし、農業問題は、しっかりと精査しなければならぬ。競争力がまだまだ不足している。例外なき関税撤廃になると、大変厳しい問題がある。

生活保護者は何世帯か

問

生活保護者は何世帯で、母子家庭は何世帯あるか。

172世帯252人である

答 民生部長

- 生活保護世帯は12月現在172世帯252人である。
- 児童扶養手当の受給者は、11月現在276人である。

武田正樹 議員



液状化の危険のある鍋田 海岸堤の改修状況は

問

防災について聞く。

- (1) 国が整備する高潮防波堤とGPS波浪計の現況
- (2) 市の津波避難計画の現状は。
- (3) 緊急時の避難路について聞く。
- (4) 災害時における情報伝達について聞く。
- (5) 「稲むらの火(江戸時代の津波が題材の物語)」を、防災教材として、今後考えてはどうか。
- (6) 鍋田海岸堤は、全長7kmのうち4.1kmが液状化による崩壊の危険性がある。改修状況は。
- (7) ①鍋田2期地区、②新孫宝地区、③大神場地区の排水機場の更新状況は。
- (8) 排水路の改修状況は。
- (9) 2集落に1カ所、避難所設置を願いたいだが、どう

か。

**2.9 Kmが完了
今後も県に要望**

答 防災安全課長

(1) 高潮防波堤は26年度完成を目指し、高上げして



▶ 新孫宝排水機場を見学する議員

津波が越流しないよう計画されている。

GPS波浪計は、夏に運用開始予定となっている。

(2) 国の作業が遅れており、早くても、県が6月に発表する予定になっている。

市の計画は、県が発表された後になる。

(3) (国の)津波対策推進マニュアル検討会のモデル地区に(市が)なっている。

どうすれば避難経路を策定できるかのノウハウをつかむことができた。

(4) 同報無線、エリアメール、安心メール、ケーブルテレビのテロップ放送、市ホームページ、ツイッターで直接情報の伝達ができるようになってきている。

4月からミニFMが開局される予定になっている。

(5) 紙芝居もホームページで取り出すことができる。そういったものを使いなが

ら、防災教育の一環で考えたい。

答 農政課長

(6) 8年度から順次液状化対策工事が実施され、23年度までに2.9kmが完了したと(県に)聞いている。

早期対策を要望していきたい。

(7) ①稲元および鍋田南部排水機場が27年度完了、②24年度完了、③第1排水機場が25年度完了である。

今後、25年度に末広第2排水機場、26年度に松名排水機場ポンプのオーバーホールを予定している。

(8) 西尾張中央道西側の幹線排水路と末広川排水路の改修が、27年度に完了するなど、県、土地改良区と連携し、排水障害の解消に努めていきたい。

答 市長

(9) 24年度に栄南学区、25年に十四山地区で順次拡大していきたい。

地域の共助の中で、市も精査するので理解してほしい。



佐藤 博 議員

3月予定の市長出前講座は どんな形で議論するか

問

市長出前講座等を聞く。
(1) 3月に予定する講座は、
どんな形式で議論するのか。
(2) 総合計画を何%実行で
きたと分析しているか。

幅広い参加で 革等を協議

答 市長

(1) 各世代にわたり幅広く
協議できればと思っている。
公共、下水道と道路計画、教
育、中期財政計画立案に伴
う行財政改革の予定である。
(2) 55〜60%の実施計画が
できた。

十中の過疎を どうするのか

問

十四山中学校等を聞く。
(1) 数年後、1学年1学級
に減少すると聞いている。
いつまで現状が維持される
と考えているか。
(2) 市民憲章を学校で唱和
する提案は、どんな理由で
理解が得られないのか。
(3) 保育所ですつけ教育を
してはどうか。



市内全校再編 計画を3年後に

答 教育長

(1) 24年5月、十四山地区
の小中学校PTA役員に対
し、検討会を開催した。そ
の結果、十四山中学校は存
続し、全中学校区の見直し
を検討してほしいという意
見が圧倒的に多かった。
当面、地域の意見を尊重
し現状のまま存続し、市内
全小中学校の通学区域の再
編成を含む、学校適正配置
計画を3年後をめどに策定
していきたい。

答 市長

25年度に有識者等による
小中学校適正規模検討委員
会を立ち上げ、住民アンケ
ート等を実施し、総合的に
検討を進めていきたい。
(2) 学校で唱和の必要はな
いという保護者、教職員の
意見が多くあり、学校側の
理解が得られていない。
(3) 保育所長等と協議し、
外部から講師を招き、保育

所の中で4歳以上につけ
カリキュラムが組めないか、
考えていきたい。

下水道と集排に 費用負担格差は

問

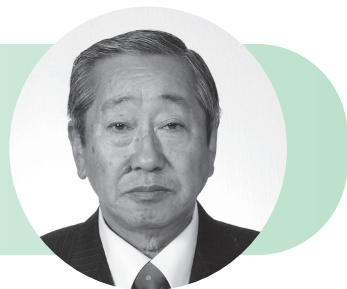
農業集落排水事業の利用
者と、公共下水道事業の利
用者に、費用負担の格差は
生じるのか。

料金体系が違い 差を感じていない

答 下水道課長

料金体系の違いや整備時
期の違いがある。農業集落
排水は補助金が多い。公共
下水道は事業費の50%、農
業集落排水は国費50%と上
乗せ県費14%をもらって
いる。
使用料金や受益者負担金
は体系として違っており、
一概に差があるとは感じて
いない。

伊藤 勝巳 議員



建設中の日の出小学校へ 指定地区外から通学できるか

問

日の出小学校【関連記事
2面】について聞く。

- (1) 前ヶ須地区の市民から、通学が認められないか問い合わせがあったが、どうか。
- (2) 学校近くの用水路を、コンクリート板で塞いで通学路に使用してほしいと、近隣住民から要望があった。市の考えはどうか。

平島・車新田が 通学区域

答 学校教育課長

(1) 市の小中学校通学区域は、行政区単位で分かれています。日の出小学校区は、平島全域と車新田の行政区域である。前ヶ須地区は、全域が引き続き桜小学校区となる。関係地区説明会を

◀ 4月開校を控えた

日の出小学校



答 市長

開催し現在に至っており、理解願いたい。
(2) 開校し様子を見て、子どもたちの安全がそぐわいならば、検討しなければならぬと思っている。

名古屋十四山線の 開通はいつか

問

道路について聞く。

- (1) 向陽通は、平島地区の住民から国道1号への開通を要望されている。早期着工に向け、地権者との交渉を要望するがどうか。
- (2) 名古屋十四山線は、大山区からコンビニ隣接の信号機までの用地買収はどこまで進んでいるのか。
- (3) 名古屋十四山線の完成見込みは、いつ頃を予定しているか。

順調なら26年度 から3年後

答 都市計画課長

(1) 平成12年度より用地買収を依頼しているが、合意に至っていない原因は、国道1号の拡張計画で交渉が

が中断したことや、地権者への物件補償の依頼に時間がかかったことなどが主な要因と考えている。

答 土木課長

(2) 鍋平四丁目～六條町地内の210m区間は、19年度に県が事業着手し、21・22年度に一部物件移転と用地買収が実施された。

その後、予算確保が難しく、用地買収が進まなかったのが現状で、地権者に迷惑をかけている。

しかし、24年度より予算確保され、現在、地権者と用地交渉を進め、なるべく年度中に契約するよう、県が交渉を進めている。

また、県は24年度、地質調査、管渠等の詳細設計を発注したいとの考えがあり、順調にいけば、26年度ぐらいから工事予定を考えていきたいとの意見である。

(3) 順序よくいけば3年ぐらいで工事は完了したい段取りで県は考えているが、財政面が問題になるので、何年かは答えられない。



鈴木 みどり 議員

消費相談窓口、相談日を 庁舎に案内表示してはどうか

問

消費者被害防止を聞く。

- (1) 過去1年間の相談件数
- (2) 消費生活相談を知らない人が多いのではないか。
- (3) 相談日以外はどう対処しているのか。
- (4) 庁舎に窓口や相談日を明記してはどうか。

相談開催日に案内表記する

答 商工観光課長

- (1) 23年度、市の相談件数22件、県民生活プラザの市分の件数は149件だった。
- (2) 市では、毎月第2、3、4木曜日に相談窓口を開き、毎月の広報でお知らせしている。
- (3) 一日も早く相談したい人へは、月々金曜日に開催

三ツ又にシヨウブ園はあるのか

問

している海部県民生活プラザを案内している。

- (4) 相談開催時に合わせて案内表記すると考えている。

三ツ又池公園について聞く。

- (1) 数個所のシバザクラが枯れている。原因は。
- (2) 公園のベンチが汚れており、機能を果たしていない。知っていたか。
- (3) あずまの屋根が壊れている。木で直すよう改善してほしいかどうか。
- (4) シヨウブ園にシヨウブはあるのか。
- (5) 木の歩道が腐食して危険ではないか。

24年開催の芝桜まつり
(三ツ又池公園)



25年度以降用途を含め検討する

答 農政課長

- (1) 農家に調査してもらったが、確たる原因は分からなかった。

- (6) 網で公園に流れて来るとごみをせき止められないか。
- (7) 外来種で生態系がどうなっていくのか、専門家にってもらう考えはあるか。

約220㎡枯れており、その部分は24年内に3千500株植する予定である。

- (2) 現在、3人の臨時職員が週3、4日、草取り、川のごみ収集等をしている。15haという広大な公園で、担当課まで連絡がもらえればと思っている。

- (3) 修理した。材質は一度検討したい。

- (4) 21年度、県から移管されたとき、シヨウブが1万株、ヨシが578㎡植えられていたが、ヨシの繁殖力が強く、現在は数株しか残っていない。

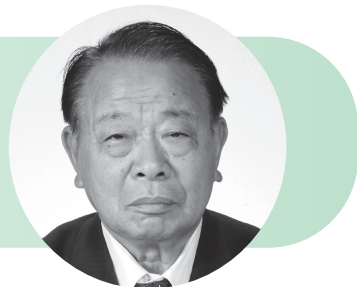
- (5) 定期的な点検し、その都度修理している。

25年度が事後評価の年となっており、形状や用途変更制限がある。シヨウブ園を含め、評価後に検討していきたい。

- (6) 川の流れを阻害する恐れがあり、考えていない。

- 答 市長
- (7) 一度しっかりと所管で考えていきたい。

伊藤 正信 議員



狭隘道路解消は市が地主に働き掛けてほしいがどうか

問

市政について聞く。

- (1) 良好な宅地供給の促進と空き家対策は。
- (2) 地域づくり補助金は、85団体に470万円が使われているが、検証はしたか。
- (3) 狭隘道路解消は、地主がそこで生活していないと(拡幅に理解が得られず)どうにもならない。
- 市として最低4m道路を方針とし、地主に協力を得る形をつくってほしいがどうか。
- (4) ごみ袋問題は、2度と起きてはならない。
- 市の懲戒処分基準について、内容的に身を引き締めるよう検討すべきではないか。
- (5) 通学路の安全調査の内容は。
- (6) 水路等整備に3年間で

(7) 農地の賃借料は、どれだけ予算を使ったのか。

地域で議論後、内容検討したい

答 都市計画課長

- (1) 市は、土地区画整理事業で宅地供給を進めている。民間の宅地分譲は、要綱改正を行い、優良宅地供給を進めている。
- 空き家対策は全国的にも、条例等踏まえた対策が進められている。今後、方針等を考えながら、情報収集していきたい。
- 答** 市長
- (2) 私もすべての申請に目を通してはいる。
- 会計報告等もしっかり内容が記載されており、継続事業と考えている。

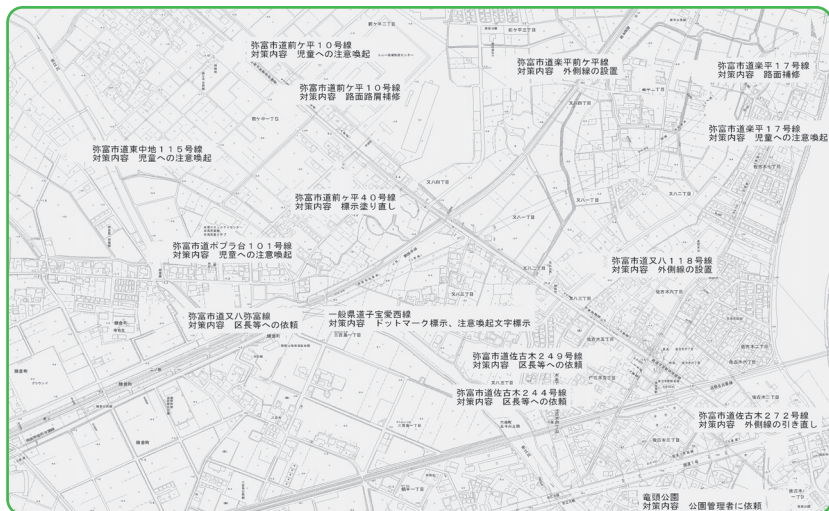
- (3) 地主の協力がありきである。
- 地域でしっかりと議論してもらい、市もその内容を検討していきたい。
- (4) 懲戒は慎重に扱わざるを得ず、基準を見直すものではない。

答 教育部長

- (5) 24年7、8月に、学校、道路管理者、警察の合同で、小学校通学路の安全点検を実施し、横断歩道、信号機、ガードレール、街灯設置要望など、51の危険個所を確認した。
- 今後は、優先順位等を検討し、順次対策を進めていくことになる。
- 答** 農政課長
- (6) 23年度ま

での3年間に市内で整備された排水路は2万4千150mで、事業費は22億7千700万円、県補助金が19億8千万円である。

(7) 24年度、鍋田地区で10a当たり1万2千100円、その他の地区は1万円である。



▶ 通学路点検で確認された対策必要個所【白鳥学区】



山口 敏子 議員

特定健診の受診率向上のため
イベントでPRブースの設置を

問

特定健診の受診率を高め、市民の健康を保持することを聞く。

- (1) 国民健康保険加入者の中で、対象者は何人か。
- (2) 21年度、県内の受診者は3人に1人である。

健康づくりフェスタの会場にPRコーナーがあれば、受診者が増加すると思うが、イベントは10月で終了している。

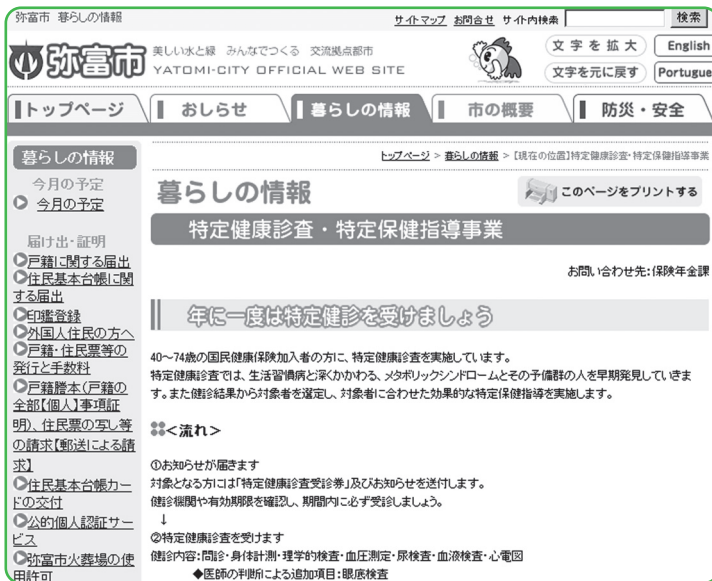
受診期間を11月末まで延ばせないか。

(3) 血液検査で行うペプシノゲン法を、市の胃がん検診に取り入れてはどうか。

(4) 検査結果が来ず、最終的に直接医療機関で確認した人がいた。

個人情報情報を慎重に取り扱ってほしいがどうか。

(5) 健康づくりフェスタで



答 保険年金課長

- (1) 被保険者1万1千811人のうち、年齢40〜74歳以下の対象者が8千137人である。
- (2) 海部津島医師会指定医療機関での健診は、6〜9月までである。

医師会との調整が必要なので、要望を伝える。海南病院の健診は5〜11月末まで、集団方式による健診は、7月〜翌年2月まで期間を設けている。

答 健康推進課長

(3) 胃がんの

死亡率減少効果の有無を判断する証拠が不十分で、国の指針も、胃部エックス線検査を示しており、バリウム検査が最適であると考えている。

(4) 今後は起こさないよう、

問

キャラクター入り
あめで市PRを

稲沢市は、イベントのとき、キャラクターの入ったあめを使っていると聞いた。市も「きんちゃん」のシールを貼ったお菓子がつくられている。あめもつくってはどうか。

前向きに検討したい

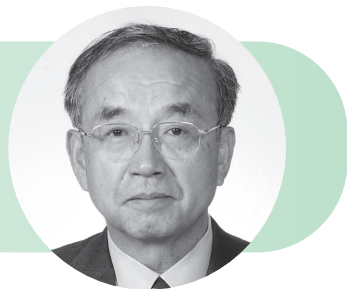
答 市長

いろんな形のものを考案し、広く市をPRすることは大変重要だろうと思っている。

担当課、または商工会と協議を重ねていきたい。前向きに検討したい。

今後検討していきたい

ブースを設け、PR活動をしてはどうか。



横井昌明議員

中長期的な財政見通しと 今後の行財政改革は

問

- 市財政について聞く。
- 中長期的な財政見通しはどうか【関連記事7面】。
 - 今後どのような行財政改革を推進するのか。

保育料値上げや補助金削減に理解を

答 市長

- 5カ年の中期財政計画を策定した。

歳入は（24年度と比べ）33年には6億6千万円の方交付税が減少する。

歳出は扶助費が年2%伸び、新庁舎、白鳥保育所、佐古木駅前、公共下水道等、大型プロジェクトも不可欠な事業だと思っている。この状況から財源不足が生じており、25年度は、2

12月に発表された財政計画

区 分	平成24年度 (当初予算)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
歳入	15,170,000	13,738,920	14,919,179	15,218,355	14,786,643	12,997,538
市税	7,179,290	7,357,600	7,357,600	7,357,600	7,357,600	7,357,600
地方譲与税	327,001	327,001	327,001	327,001	327,001	327,001
各種交付金	692,510	692,510	692,510	692,510	692,510	692,510
地方交付税	790,000	789,000	825,097	820,198	843,043	809,345
分担金及び負担金	155,889	155,889	155,889	155,889	155,889	155,889
使用料及び手数料	149,451	149,451	149,451	149,451	149,451	149,451
国・県支出金	2,593,671	2,107,993	2,107,993	2,107,993	2,107,993	2,107,993
繰入金	1,071,023	787,247	520,899	525,784	704,027	310,220
繰越金	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
市債	1,565,600	851,400	2,262,000	2,561,100	1,928,300	566,700
その他	345,565	220,829	220,829	220,829	220,829	220,829
歳出	15,170,000	13,985,446	15,202,423	15,554,930	15,108,107	13,525,857
義務的経費	6,185,643	6,290,545	6,357,367	6,365,114	6,525,184	6,599,604
人件費	2,633,886	2,633,886	2,640,656	2,642,756	2,633,886	2,633,886
扶助費	2,432,680	2,469,170	2,506,208	2,531,270	2,556,583	2,582,149
公債費	1,119,077	1,187,489	1,210,503	1,191,088	1,334,715	1,383,569
投資的経費	2,645,866	1,303,416	2,617,578	2,921,653	2,454,096	768,689
その他の経費	6,338,491	6,391,485	6,227,478	6,268,163	6,128,827	6,157,564
物件費	2,486,415	2,461,551	2,451,195	2,451,880	2,412,626	2,400,563
維持補修費	128,307	128,307	128,307	128,307	128,307	128,307
補助費等	2,523,565	2,555,273	2,393,047	2,393,047	2,255,565	2,255,565
積立金	4,920	4,920	4,920	4,920	4,920	4,920
繰出金	1,127,318	1,173,468	1,182,043	1,222,043	1,259,443	1,300,243
その他	67,966	67,966	67,966	67,966	67,966	67,966
歳入合計-歳出合計(形式収支)	0	-246,526	-283,244	-336,575	-321,464	-528,319

円かかっており、市民の意見を得て改正していく。国民健康保険の特別会計への2億円の法定外繰り入れ(減額)を検討する。補助金、補助経費の補助率も見直さざるを得ない。

億5千万円の財源不足になり、行政改革が必要になる。

- 全職員の給与を3年間、3〜5%削減したい。

保育料(値上げ)を県平均まで頼みたいと思っている。コミュニケーションパスは1億

市民の理解を得るよう努力していく。

金魚池は防災上 保全を

問

- 土地利用計画等を聞く。
- 市街化区域内の農地は、市街化調整区域の開発を規制緩和する県条例の条件を満たす地域はあったか。
 - 防災上、市街化区域内の田、養魚池保全をどう考えているか。
 - 24年度から中学校の武道が必修化されたが、なぎなたの伝承をどう考慮しているか。

保全を依頼するのは困難である

答 都市計画課長

- 約65・2haである。

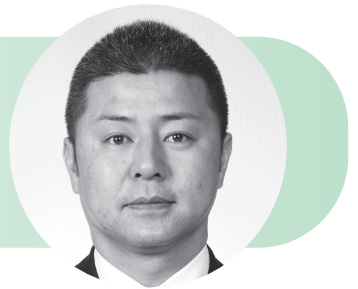
- 該当する所はなかった。
- 防災安全課長

防災の観点のみから、水田等の保全を依頼することは難しい。

答 教育長

- 現在、中学校の体育の授業に実施できるか、用具や指導者体制もあり、25年度に向け検討を深めている。

早川 公二 議員



十四山東西公園は防犯面から見通しに工夫を

◀ 十四山東公園（西峴地内）



東公園も同様に見えない状態である。

子どもたちの公園に対するイメージや、暗くて怖い、不審者が出そう、余り遊ぶ遊具がないなど、リアルな声を聞いたことがあるか。

(3) 防犯の面から考え、もっと明るく、安心して安全に遊べる公園に変えてほしいがどうか。

(4) 西公園は滑り台もあるが、老朽化しており、改修するより替えた方がいいのではないか。

視界確保の観点で整備する

答 児童課長

(1) 日頃の管理は、遊具点検、樹木管理、トイレ清掃を行っている。

安心して、少人数でも遊びに来てもらえると考えている。

(2) 21年に子育て支援ニーズ調査を実施し、安心して遊べる公園整備などの要望もあったが、保護者の意見で、直接子どもたちの声を聞いたわけではない。

そこで、25年度実施予定の子ども・子育て支援事業策定計画前のニーズ調査の中に、実際に子どもがどう思っているのか、反映する調査項目も盛り込みたい。

(3) 不審者情報が年々増加しており、公園も、防犯の視点から配慮していくことが必要だと考えている。

今後は、外からある程度公園が見渡せる視界の確保という観点で、公園内を整備し、安心・安全な公園を目指していきたい。

(4) 遊具は定期点検を行っており、適宜悪い所は修繕し管理しているが、老朽化が目立つ遊具もある。今後は遊具の更新も考えていきたい。

十四山地区公園の防災公園化を

問

防災公園について聞く。

(1) 市内に、防災設備を備えた公園は何箇所あるのか。

(2) ひので公園は、どんな防災設備が付いているか。

(3) 今後、十四山地区の公園を、防災設備を備えた公園に変えていくことは考えていないか。

今後の課題と思っている

答 防災安全課長

(1) 大藤学区防災広場は高上げし高さのある広場、もう1カ所はひので公園で、計2カ所である。

(2) かまどとして使えるベンチや、マンホール型のトイレがある。

(3) そういった機能を持たせるのは、今後の課題と思っている。

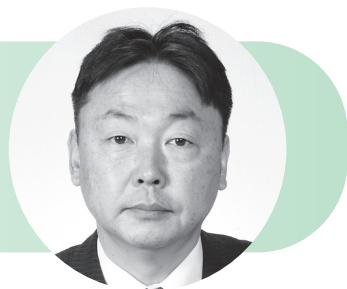
問

十四山東公園、西公園について聞く。

(1) 子どもが安心して安全に遊べる状態か、少人数でも遊びに行けるか、現状を把握しているか。

(2) 西公園は（樹木で）道路から見え、見渡せない。

川瀬知之議員



庁舎、学校、病院の大型事業を核にしたまちづくりを

問

経済効果を考えたまちづくりについて聞く。

- (1) 新庁舎の概要は。
- (2) 新庁舎と地域の経済効果を考えているか。

例えば駐車場は、月々金

曜日を使用するが、土・日

曜日は空いているかどうか。

(3) 日の出小学校の概要は。

(4) 日の出小学校は（旧弥富中学校と比べ敷地が約8千㎡）空いている。売買すれば固定資産税も入るが、いくらになるか。

(5) （新庁舎、日の出小学校、海南病院の）3つ同時に大型事業が進み、地域に投資される。

病院を中核に地域全体で防災を考えた方がいいのではないか。

(6) 市を海部圏の交通、防災、医療、経済の中心と発

想を変え、海南病院の経済効果を考慮に入れ、周辺を統合したまちづくりにすべく、専門知識のある市民の考えも入れて改善し、協働してはどうか。



庁舎から市街地を望む

事業が連携することは重要

答 総務課長

(1) 総事業費55億円を見込んでおり、敷地面積1万750㎡、建設完了を28年度と考えている。

(2) （土・日曜日開館の図書館棟もあり、区分けは難しい。

料金徴収者を常駐させると賃金がかかり、新庁舎も料金を取らない方針でいる。

答 学校教育課長

(3) 契約金額は18億3千750万円、床面積9千824㎡である。

答 市長

(4) 市として売却は考えていない。

(5) 国の補助もあり、一つの公事業を多目的にすることは不透明になる。原理原則を理解してほしい。

(6) 費用対効果が最大限発揮できるよう、事業が連携を取り合うことは非常に重要だと思っている。

予算繰り越しを評価する仕組みを

問

予算について聞く。

(1) 予算を年度末までに使いつける考え方が、恒例となっていないか。

(2) 神奈川県横浜市のメリットシステム【】を検討してはどうか。

工夫や財源確保で予算節減が認められた場合、翌々年度の予算に規定の配分額を上乗せする仕組み。使いきり予算の是正と、職員のコスト意識向上が期待できる。

単年度会計に準じていきたい

答 財政課長

(1) 余れば繰越金として翌年度の財源となる方針で、財政運営している。

答 市長

(2) 基本的に予算主義、（単年度）会計に準じていきたい。



堀岡敏喜議員

携帯電話等の小型家電から レアメタルの回収推進を

問

レアメタル等について聞
く。

- (1) 小型家電の分別回収に
ついて、市の認識と対応は。
- (2) 前向きに検討するのか。
- (3) 公共施設、学校施設の
劣化診断、長寿命化、中・
長期的な計画策定、財源確
保をどう考えているか。

選別を試験試行 し研究中

答 環境課長

(1) 家庭から出る不燃ごみ
等から、破砕機にかける前
に小型電子機器を異物除去
装置等で選別し、回収業者
に売却している。
費用、効果が不明確なた
め、実施の方向性を研究し
ていく。

答 市長

(2) 携帯電話等を入れる回
収ボックスを、一度検討し
ていきたい。

答 財政課長

(3) 学校担当課と共同で建
物の劣化状況等を調査、整
備計画を策定し、長寿命化
を図っていく必要がある。
財源は、補助金、市債の
発行、行政改革により捻出
していこうと考えている。

自主防犯組織へ 支援はあるか

問

防災について聞く。

(1) 指定避難所の収容人数
は限りがある。高齢者等ほ
ど避難が遅くなる。受け入
れは優先順位を明確にし、
ルールをつくるべきではな

いか。

- (2) 防災リーダー育成の具
体的な取り組みについて聞く。
- (3) 自主防災会の訓練のあ
り方について、情報提供、
共有の場をつくることを提
案するかどうか。
- (4) 防犯組織立ち上げに当
たり、市の支援はあるか。

車のパトロールは 最大10万円を補助

答 防災安全課長

- (1) 要援護者に先に逃
げてもらうのが原則に
なっている。ただ、公
で賄うことは非常に難
しく、自主防災会に頼
みたいと思っている。
- (2) 例年、ボランティア
アコーディネーター、
防災リーダー養成講座
の取り組みをしている。
- (3) 相談があれば、い
ろんな事例を用意して
いるので、対応できる
ようにしたい。
- (4) 徒歩の場合、5人

以上の団体が県で認定され
れば、パトロール用ベスト
等がそろえられ、市のきん
ちゃんパトロール隊は、帽
子、腕章、名札を渡してい
る。かおるヶ丘、五之三、
鎌島が設立されている。

車を使ったパトロールは、
1台当たり年間2万円、上
限10万円を市防犯協会より
補助しており、五明、平島
西、平島東、十四山、白鳥
建設業協力会の6団体がパ
トロールをしている。



▶青色パトロールカーも参加した
年末一斉特別警戒(24年12月)

市議会タウンミーティング

**約130人の市民が参加
議員と意見を交わす**

24年11月、初の議会報告会を行いました。その概要を紹介します【問「要」は市民からの質問、要望で、「答」は議会の答弁です】。

会議の概要

開催日 平成24年11月28日
午後7時～9時

開催場所 市民ホール
参加者 約130人
出席議員 18人

報告会の流れ

- 1 議長あいさつ
- 2 報告内容
 - (1) 議会基本条例について
 - (2) 議会改革協議会について
 - (3) ごみ袋問題調査特別委員会の報告について
- 3 意見交換会

報告内容への主な意見

市民が議会に問う

議員定数は適切か

問 市の議員定数は、他市より多いのではないか。

任期中に解決を目指す、話し合おう

答 任期中(28年2月末まで)に解決できるよう、十分話し合っていく。

問 一般質問しない議員は、問題意識がないのか。

答 24年12月議会は16人が質問する予定である。質問しないことで意識がないとは一概に言えない。

問 行政側に反問権(市長等が議員に逆質問する権利)を与えてはどうか。

要 議員定数を減らす必要はない。報酬を下げた数はそのままよい。

答 今後、協議していきたい。ごみ袋問題は、損害額を補填できるのか。

問 予算決算をチエックする議会も責任があるし、行政側も大きな責任があるのではないか。

答 市が、破産管財人に損害賠償請求している。議会が把握していなかったことをお詫びする。予算・決算書で把握することは非常に困難だった。今後、二度とないよう行政を監視し、議会として慎重審議していきたい。

その他の意見・要望

要 議員定数を減らす必要はない。報酬を下げた数はそのままよい。

要 政務調査費を付け、勉強し、市民にフィードバックしてほしい。

要 議員定数18人は多い。12～14人で、報酬も日当りよい。

意見交換会の主な意見

問 議会は震災ガレキ焼却について、どんな考えを持っているか。

答 焼却受入の話はあったが、海部地区環境事務組合が「受入しない」と県に報告している。

【20面に続く】

3月定例会の開催日程(予定)

期日	日 程	放映 予定
2月27日(水)	本会議(市長の施政方針演説、議案説明など)	○
3月6日(水)	本会議(一般質問)	○
8日(金)	本会議(一般質問)	○
11日(月)	本会議(議案質疑)	
13日(水)	厚生文教委員会	
14日(木)	建設経済委員会	
18日(月)	総務委員会	
22日(金)	本会議(委員長報告・討論・採決)	

～ケーブルテレビ中継～
午前10時～会議終了まで(録画放映は当日午後7時～予定)
※日程は、変更になる場合がありますのでご了承ください。





ご参加、 ありがとうございました

～市議会タウンミーティング概要～

【19面より続き】

問 各地区に海拔、地震による津波の高さ、到達時間を表示してはどうか。

答 市とよく協議し、要望に応じていけるようにしたい。

問 タウンミーティングに対する議員の思いを聞きたい。

答 各地区での開催、年に何回開催するかなど、議論を始めている。市民の声を聞き、市の発展に結び付けたと考えている。

問 海南病院へ多額の補助金を支払っていることについて聞きたい。

答 市民病院がなく、市、愛西市、蟹江町、飛鳥村、木曾岬町が補助している。

問 海南病院は、補助金の支払いがない他市町からの受入で、市民が診てもらえない。公的機関の役割を果た

していないのではないか。

答 救急搬送者の受入れを断ることはできず、現在、海南病院は救急医療に配慮べく拡張されているので、理解してほしい。

市の要望で、少しずつ医療体制や救急車対応も充実してきたと思う。

その他の要望

要 図書館は新庁舎2階に整備してはどうか。

要 コミュニティバスを抜本的に改革してはどうか。または廃止の方向で。

要 十四中学校はこのままで良いのか。学区編成をしてはどうか。

要 平島地区に雨水調整池が必要ではないか。

要 道の駅をつくって、金魚や文鳥をアピールしてはどうか。

要 国道155号バイパスの延伸について、議員団を結成し強く陳情してほしい。

要 国道1号の拡幅と尾張大橋の耐震工事を。

要 自治会、福寿会、子ども会など会長のなり手がない。非営利活動組織を構築してはどうか。

要 議員数を8人（各小学校区1人）、報酬の日当制、会議を午後5時～9時に開催してはどうか。



▶ 質問する市民

要 市税の徴収率100%が達成できるよう、市側に要請してほしい。

要 議員定数は、各常任委員会や一部事務組合で十分な議員活動ができるよう、18人を維持すべきである。

【市ホームページにも詳細を掲載しております。併せてご覧ください】